



「自分たちも何か社会のためになる貢献がしたい」
そう考えた中学生が、生徒総会で学校を動かし、寄付機能付きの
自動販売機を学校に導入！

和洋九段女子中学校高等学校が、シーセフへの寄付機能付き 自動販売機を導入してくださいました！

社会貢献や国際協力というと、実際に参画するのはハードルが高いかもしれない、と感じる人も多いのではないのでしょうか。しかし、お金による募金や寄付以外でも、寄付機能が付いている商品を購入することが、開発途上国などへの支援に役立てられる国際協力のカタチがあります。

今年の5月、東京都の和洋九段女子中学校高等学校の中学2年生数名が、シーセフの日本事務局を訪ねて来られました。「開発途上国への支援につながる、寄付機能付きの飲料自動販売機をシーセフのホームページで見つけたので直接話を聞きたい」とのことでした。

学校に戻ってから、自分たちの学校でも、この自動販売機を取り入れることができないだろうか……と考え、それを生徒総会で提案したそうです。結果、実際に設置できるようになりました。

中学2年生が主体的に活動し、学校を動かしたおかげで、生徒のみなさん一人ひとりが、国際協力・社会貢献をより身近に感じ、考えることができるようになったのではないかと思います。そして何より、日々のちょっとした飲み物の購入でカンボジアの教育を支援する取り組みとなったのです。

若者のひらめきや思いが大きく前進し、たとえ微力でも国際協力につながる第一歩を達成したすばらしい事例だと考えます。

和洋九段女子中学校高等学校のホームページには、以下のような記載がありましたので、ご紹介させていただきます。



生徒のみなさんは、2 学期から登場した自動販売機をもう利用しましたか。

この自動販売機は、ただの自動販売機ではありません。中学 2 年生が企業訪問を通して、社会貢献ができると考えて導入を希望しました。売り上げの一部が、CIESF(シーセフ)を通して、途上国での教育支援の活動資金として役立てられるそうです。

一人ひとりの何気ない行動が、社会貢献につながるというのは素敵なことですね。

あらためて、身近にできる社会貢献について、友達同士で考えてみませんか。

編集後記

暑くて眠れない、なんてことを言っていたのが昨日のこのようですが、最近朝が寒くて布団が大親友です。四季のないカンボジアで1年過ごしてみて、日本の四季の移り変わりを直接肌で感じるということがどんなに素敵なことかをかみしめています。なんとなく匂いで秋を感じる感覚も戻りました。ここ数日は、銀杏並木のあの秋のおいで。(YM)

発行：公益財団法人 CIESF

〒107-0062
東京都港区南青山 1-10-4
南青山 NK ビル 6F

